

一般社団法人 アジア民族文化学会

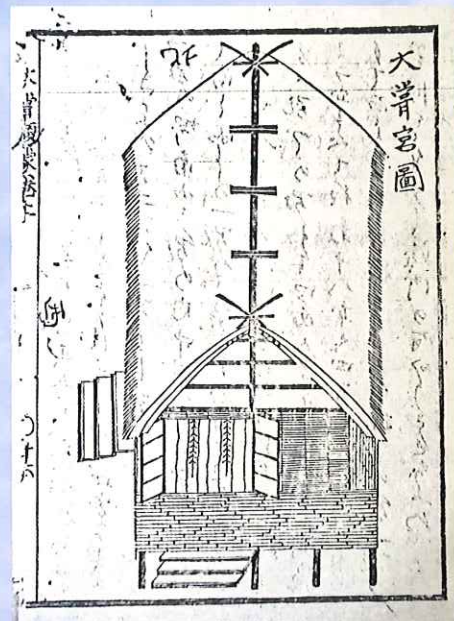
第38回大会 シンポジウム

# 大嘗祭—隠された古層—

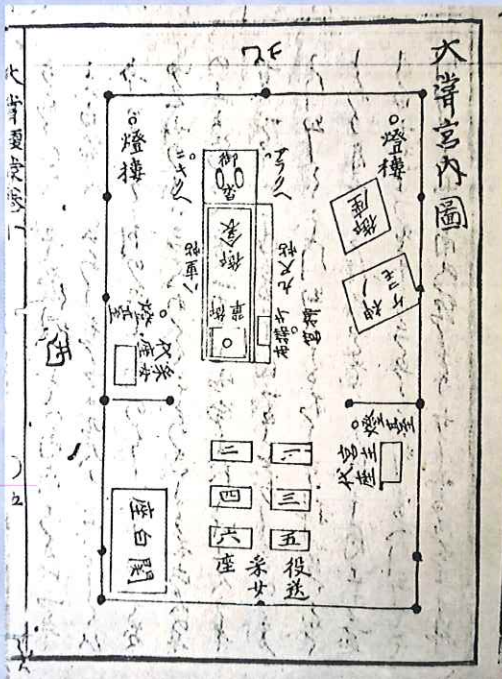
2019年10月26日(土)

14:00~17:00 (13:30開場)  
於 共立女子大学2号館703教室

入場無料。どなたでもご参加ください。



大嘗宮図 (『大嘗会便蒙』早稲田大学図書館蔵)



大嘗祭宮内図 (同)

代替わりの年の11月、天皇は深夜に<sup>だいじょうきゅう</sup>大嘗宮に籠もる。その内陣には、神が着座する神座と天皇の御座、畳を重ねた寝座、枕、<sup>ふすま</sup>衾(寝具)が設けられている。この大嘗宮の最奥部で行われることは、代々、秘儀とされてきた。ここで、何が行われたのか、あるいは、何が幻視されたのか。そして何故、それは秘儀とされたのか。秘儀の隠した大嘗祭の本質に迫る。

- |                |        |
|----------------|--------|
| I パネリストによる基調報告 | 14:00~ |
| II パネリストによる討議  | 15:40~ |
| III 全体討議       | 16:30~ |

## 【基調報告】

秘儀としての大嘗祭 — 秘儀が隠したもの —  
大嘗祭と天皇制

共立女子短期大学教授 岡部 隆志  
大東文化大学名誉教授 工藤 隆

コメンテーター

共立女子大学教授 遠藤耕太郎

一般社団法人 アジア民族文化学会事務局

〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋2-2-1

共立女子大学 遠藤耕太郎研究室内

03-3237-2588 [azimin@sea.plala.or.jp](mailto:azimin@sea.plala.or.jp)



## 【基調報告要旨】

### 秘儀としての大嘗祭 — 秘儀が隠したもの —

岡部 隆志

村落レベルでの新嘗祭の基本的な構造はまつる側（人）が収穫された米を神に供えて饗応するというものである。まつられる神は稲の生育に影響を与える自然神と見なせる。従ってそこには次元を異にする人間と自然との交渉（関係）がある。

一方大嘗祭の大きな特徴はまつる側（人）とまつられる神との関係が曖昧であるということである。大嘗祭では、天皇がまつる側でもあり同時にまつられる側でもあるとみなせる。だからこそ天皇自身が神の資格を得る祭祀だとする解釈が出てくる。

大嘗祭においては、人間と自然という次元を異にする明確な関係が超えられてしまっていて、まつる側もまつられる側も同一の抽象的次元に属してしまっていると言える。だから両者の関係は曖昧になるのだが、この曖昧さを秘儀として神秘化することで、村落レベルでの新嘗祭を超越した大嘗祭の本質が成立しているのではないか。本発表では以上のようなことを、宮廷の新嘗祭に唱えられる「大嘗の祭」祝詞や折口信夫の「大嘗祭の本義」（別稿）を手がかりに論じてみたい。

### 大嘗祭と天皇制

工藤 隆

敗戦（1945年）以後のほとんどの天皇論の特徴は、縄文・弥生期から古墳時代までの〈古代の古代〉および古代天皇制国家成立期の〈古代の近代〉への言及を、意識的に排除しているか、あるいは棚上げしているか、嫌悪しているかにある。逆に、〈古代〉からの視点を強調するのは、明治期以来の誇大化された天皇像に固執した戦前日本回帰派であるが、彼らの〈古代〉日本像は、過剰に美化されたり、偏狭な歴史解釈に満ちたりしているのが一般である。

大嘗祭は、その原型・源を縄文・弥生期以来の〈古代の古代〉に持ち、国家祭祀としての整備が開始されたのが600年代末の〈古代の近代〉であり、それが、象徴天皇制として21世紀の日本にまで存続している。その大嘗祭を原型から把握し直すことによって、天皇制を維持する現代日本社会の本質に迫る。

## 【パネリスト紹介】

### 岡部 隆志（おかべ たかし）

1949年生まれ

共立女子短期大学文科教授

〔主な著書〕

『天皇制・入門』『中国少数民族歌垣調査全記録1998』『古代文学の表象と論理』『神話と自然宗教—中国雲南少数民族の精神世界—』『アジア歌垣論 附中国雲南省白族の歌掛け資料』

### 工藤 隆（くどう たかし）

1942年生まれ

大東文化大学名誉教授

〔主な著書〕

『日本芸能の始原的研究』『大嘗祭の始原』『古事記の生成』、『四川省大凉山彝族創世神話調査記録』『雲南省ペー族歌垣と日本古代文学』『古事記の起源』『歌垣の世界』（日本歌謡学会第33回志田延義賞受賞）、『大嘗祭』ほか。

## 【交通アクセス】

東京メトロ半蔵門線・都営地下鉄三田線・都営地下鉄新宿線

「神保町」駅下車 A8出口から徒歩1分

東京メトロ東西線・半蔵門線・都営地下鉄新宿線

「九段下」駅下車 6番出口から 本館まで徒歩5分

東京メトロ東西線

「竹橋」駅下車 1b出口から徒歩3分

